

「ゲオ」DVDレンタル最大手 “お家騒動”の後遺症
いまだに残る仁義なき

実業界

2

The Analytical
Magazine
for Economics

2012

毎月1日発売

昭和27年2月28日第三種郵便物認可
毎月1回1日発行 平成24年2月1日発行 第996号

不安と疑問渦巻く
「麒麟HD」
ブラジルビール会社
3000億円投資

- 「オリックス」海外事業
“深入り”の割りに
結果出ぬジレンマ
- 新東名用地買収脱税事件で
露呈した「中日本高速道路」
拭いがたい親方日の丸体質



コラムの左ページに書かれている「歯科・身体総合医療」を目指す」ということについて、本稿ではお話をしたい。

ムシ菌や歯周病など、原因が分かっている口腔内の痛みや不快感とはまったく異なり、原因が不明の症状「口腔心身症」に悩む患者さんが増えて来ていることは、当コラムで何度も言及した。

ストレスによる歯の「噛みしめ」をきっかけに、自律神経のバランスが崩れた状態が長期化し、口腔内やアゴ、顔面などの局所的な痛みや不快感となって表れるものだ。

原因が分かっている歯痛と、口腔心身症では、同じ局所的な痛みであっても、原因が異なる以上、同じ治療法で病気は治せない。

歯科領域においても、局所に対する従来型の治療だけでは、患者さん

十 未病の憂い

歯科医が語る現代版養生訓

の苦しみを解消できないケースが増えてきているということだ。

「歯とカラダ（全身）」の関係に留意した治療を積極的に提供すべき、との考えを私なりの言葉としたのが

「歯科・身体総合医療」である。

「木を見て森を見ず」が、従来型の歯科治療だとすれば、歯科・身体総合医療は「木を見て森も見る」と

して心身の不調に対し強力に歯止めをかける治療の在り方だ。

歯やアゴの不快感と、カラダの不調がなぜ関係あるのか；あるいは、歯の痛みを治すのに、なぜカラダを

診るのか；と疑問の読者のために、もう少し説明をしたい。

近年、口腔内に表れる症状と、全身的な疾患には多くの関係があることが確認されている。

口腔内の症状というのは、病気のサインである、今は深刻でなくとも、実はこれから全身に起こり得る可能性の高い、別の病気、その発症を知らせるメッセージである場合が少なくないのだ。

ヒトは不快なストレスを受け続けると、自律神経（交感神経と副交感神経）の「エンジン役」交感神経ばかりが過度に緊張を強いられる状態に陥る。

ブレーキ役の副交感神経がうまく働かなくなり、過度に緊張した交感神経は、体中の血管を収縮し血流は低下し筋肉を緊張させ心拍上昇、結果、心臓はフル回転の状態を強いられることになる。激しい運動をしたわけではないのに、動悸に襲われる経験をお持ちの方も少なくないのではないか。

こうした自律神経が関与した全身的な不調が原因の歯やアゴの痛みなどに対しての治

木も森も見る「歯科・身体総合医療」とは？

療が「歯科・身体総合医療」の対象の一つとなる。

当クリニックでは、自律神経が関与した口腔心身症の患者さんには、心臓の動きの情報から自律神経の状態を把握する検査（HRV検査）を元に、治療を行う。

HRV検査の結果を元に、自律神経のバランスを整えるため、特殊な光線治療を受けていただく。

頸部（クビ）の特定の部位（星状神経節）に光線を照射し、その光の刺激で乱れている自律神経のバランスを整え、活性化を促し、何回かの照射の後には、口腔内の痛みは消えていく。

この治療法は、歯科・身体総合医療の一形態に過ぎないが、全身の機能から局所的な臓器にアプローチしていく有効な方法である。

木も見て、森も見る、歯科・身体総合医療については、次号でも詳しくお話ししたい。

（次号へ続く）

顎関節症

ドライマウス

舌痛症

高野歯科クリニック
亀井 英志
Kamei Hideshi

ストレスは

見える！

すべては「噛みしめ」が原因だった

気がつくとき歯を食いしばっている、心当たりの方は、当コラムの亀井医師の著書「すべては「噛みしめ」が原因だった」をお読みいただきたい。未病の原因をまとめた良書です。

亀井英志（かめいひでし）

1951年群馬県前橋市生まれ。76年東京歯科大学卒業。都立病院歯科口腔外科医を経て、84年より長栄歯科クリニック院長。臨床ゲノム医療学会理事。

